



JA広島総合病院
ホームページ

発行所／JA広島総合病院
〒738-8503 広島県廿日市市地御前1-3-3
Tel.0829-36-3111(代) Fax.0829-36-5573
2026年(令和8年)1月13日(火)発行

パソコン www.hirobyo.jp

新年のご挨拶



JA広島総合病院
病院長
石田 和史
ISHIDA Kazufumi

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「米」と「熊」という二つの騒動に振り回された年ではなかったでしょうか。「米」に関しては、米不足による価格高騰だけではなく、米国のトランプ関税が貿易立国である日本の多くの企業の皆様を悩ませたことと存じます。「熊」が人の居住地に頻回に出没し、人を恐れぬ振る舞いが常態化したことは深刻な社会問題となっています。背景には個体数の増加と生息地での餌の減少により、熊同士の生存競争が激化している事があると想像され、^{あな}強ち自然災害と片づけるわけにはいかないように思います。

さて、最近マスコミでも取り上げていただけるようになりましたが、この数

年、当院のような急性期医療を担う全国の病院においては、物価・人件費の高騰が現在の診療報酬でカバーできず、かつて経験したことのない厳しい経営状況に陥っています。しかし、広島県西部最大の急性期病院としての使命を果たすためには医療機能のバージョンアップは不可欠であり、立ち止まるわけにはいきません。現在、2024年にオープンした南棟に続いて既存棟改修工事を進めており、いくつかの部署が今年中にリニューアルオープンし、機能と利便性が高まる予定です。また、診療体制のニュースとしましては、今年4月からリウマチ膠原病内科に待望の常勤医2名が赴任し、内科領域の守備範囲がさらに充実しますので、ご期待いただければと存じます。

今年の干支は「馬年」です。「馬」は駆ける力強さや、前に進む勢いの象徴とされ、こうした厳しい時こそ「馬のようにしなやかに、かつ力強く前進する」姿勢が求められていると感じています。「変化を恐れず、地域にとって必要とされる病院であり続ける」ため、医療の質・安

全性のさらなる向上、地域の先生方との連携強化、職員の働きやすさを高める環境整備、持続可能な体制づくりを進め、全ての従業員が手を携えて先を見据えた挑戦を続ける所存です。

末筆となりましたが、日頃の皆さまのご理解・ご支援に対し改めて深く感謝申し上げますとともに、新しい年が馬のように躍動し、皆様にご健康とご多幸が訪れますことを心より祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

迎春



第16回 ふれあいポスター展

令和7年10月27日(月)から12月19日(金)まで、病院1階ロビーにて第16回ふれあいポスター展を開催しました。今年度は39作品が出品されました。院内では医師、看護師、メディカルスタッフなど多くの職種が力を合わせて治療を行っており、この企画は、患者さんや地域の方々にそれぞれの部門がどのような思いで医療に取り組んでいるかを知っていただき当院への理解を深めていただくこと、そして職員同士が他の部門の活動や最新の医療情報を学び合うことでチーム医療をさらに良くしていくことを目的としています。

今年度も11月に開催しました「第13回オープンホスピタル」の来場者に良いと思うポスターを投票していただきました。各部門より趣向を凝らした作品が多く出展され華やかな展示となり、多くの方々に楽しんでいただきました。

住民投票並びに委員会委員による採点の結果、以下の作品が最優秀賞、優秀賞を受賞しました。

作成したポスターは、病院ホームページにも掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

●応募総数：39作品

医局部門……………11 作品
看護部門……………18 作品
コメディカル部門 … 8 作品
チーム活動他部門 … 2 作品

●展示期間

10月27日(月)～12月19日(金)

●住民投票

11月16日(日)
オープンホスピタル投票者
193名(565票)

●表彰

12月12日(金)
創立記念パーティー

最優秀賞

ICT・感染防止対策室

防災バッグに入れておこう！
～避難時の感染対策に役立つグッズ～



優秀賞 医局部門

眼科

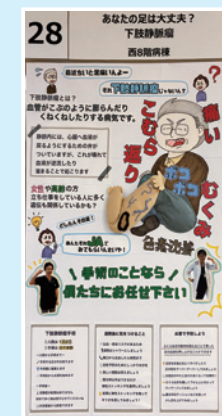
ひと工夫！
目薬の指し方



優秀賞 看護部門

西8階病棟

あなたの足は大丈夫？
下肢静脈瘤



優秀賞 コメディカル部門

栄養科

心もカラダも絶対好“腸”！
良いことだらけの腸活



優秀賞 チーム活動他部門

クリニカルパス委員会

クリニカルパスを
すぐろくで体験してみよう！



優秀賞 住民投票部門

地域救命救急センター 外来

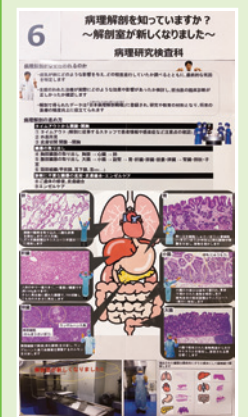
その手で命をつなぐ
～知ってる？ 胸骨圧迫のやり方～



ラッキー賞

病理研究検査科

病理解剖を知っていますか？
～解剖室が新しくなりました～



第13回 オープンホスピタルを開催しました

令和7年11月16日(日)に第13回オープンホスピタルを開催いたしました。当日は晴天にも恵まれ、地域の方々をはじめ多くの方にご来院いただき、様々な催しを通して当院の取り組みを感じていただく良い機会となり、来場者の皆様から好評を得ました。

オープニングイベントでは、廿日市市を拠点に活動されている「創作エイサー 廣琉^{こうりゅう}」の皆様が力強いパフォーマンスを披露していただきました。廣琉の皆様は、沖縄の伝統文化や歴史を大切にしながら、楽しく時に厳しく練習を重ね、「本番を会場の皆さんと一緒に楽しむこと」をモットーに活動されております。今後も廣琉の皆様の活動にぜひご注目ください。

オープニングイベント終了後には、アンパンマンとの握手会・撮影会に多くの子供達が列を作り大盛況となりました。子供達が笑顔で撮影を楽しむ姿はとても微笑ましく、また別ブースで行われたお楽しみコーナー(プラバン作り)も大変人気でした。その他にも、医師に直接相談できる医療相談コーナーや、身長・体重などの基礎的な項目に加え、脚の筋肉量を数値化した「脚点」を測定できる健康相談ブース、野菜摂取状況を確認できるベジチェック、内視鏡手術に必要な基本動作を体験できる内視鏡シミュレーター体験、青木主任部長による公開講座「脳神経内科ってどんな科？」など多彩な催しを通して、来場者の皆様にはご自身の健康や医療事業への関心を深めていただきました。

また昨年からの新たな試みとして実施している院内探検ツアーは、先着40名の定員に多くの応募があり好評をいただいております。普段は見ることのできない院内の検査部門などを間近で見学できる貴重な体験として、来場者の皆様に大変人気のイベントとなりました。

今後も地域の皆様一人ひとりの健康と安心を大切に、職員一同が力を合わせて日々の診療やサービスの向上に取り組み、地域医療に貢献してまいります。



医療福祉支援センター

第22回市民公開講座 開催しました！

日時

令和7年11月30日(日)
参加者：485名

場所

はつかいち文化ホール
ウッドワンさくらびあ 大ホール

テーマ 糖尿病予防、やるなら今でしょ。～クイズと音楽で学ぶ 糖尿病の今～

糖尿病は誰にでも起こりうる身近な病気です。今回の市民公開講座では、糖尿病の歴史や基礎知識、廿日市市における糖尿病の現状、そして健診で「血糖値が高い」と言われたときにどうすれば良いのかなどを医師や廿日市市職員の立場から講演を行いました。

また、当院の糖尿病サポートチームが糖尿病について楽しく学べるクイズ形式の講演を行いました。参加者のみなさまからは「分かりやすい」「楽しみながら学べた」と好評をいただきました。

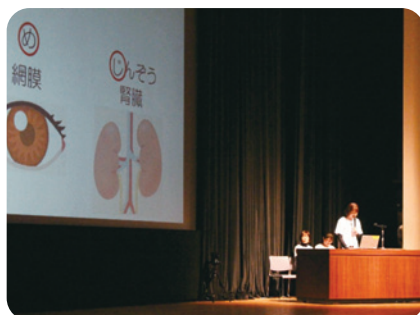
今回は特別企画として、川本室内合奏団によるコンサートも開催し、会場は温かな音色に包まれました。イベントの最後には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会も実施し、大いに盛り上がりしました。

いただいた感想やアンケート結果を踏まえ、今後も幅広い世代の皆さまに参加いただけるよう工夫を重ねてまいります。

次回も多くの方のご来場をお待ちしております。



▲ 市民公開講座の様子



当日来場できなかった方、当日聴講できなかった講演がある方のために、以下の通りオンデマンド配信いたします。ぜひご視聴ください。

動画の視聴方法

▼ パソコン・スマートフォンの検索窓から

広島総合病院 市民公開講座



▼ YOUTUBE の検索窓から 廿日市市 市民公開講座

広島総合病院 市民公開講座



配信期間 令和8年1月4日～令和8年9月30日

JA広島総合病院・廿日市市・佐伯地区医師会
第22回 市民公開講座
クイズと音楽で学ぶ 糖尿病の今

令和7年 11/30日 13:00～16:00 (開場12:00)
はつかいち文化ホール
ウッドワンさくらびあ 大ホール 廿日市市下平島1-11-1

入場無料 申込不要
※手紙選別、要約等もあります。
※駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。
廿日市市外の方も是非ご参加下さい

糖尿病予防、やるなら今でしょ。
JA広島総合病院 糖尿病サポートチーム集結！
医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士の多職種からなるチーム、専門分野を活かして連携を取りながら糖尿病診療を行っています。

広報誌せと バックナンバー

<https://hirobyo.jp/seto/index.html>

